山櫻、山吹、三葉躑躅ナドノ花盛リデ溪谷ノ春ハ正ニ酣ナル景觀ヲ呈シテ居ツタガ、本年度ハ四圍ノ草木ハ芽モ未ダ殆ンド開舒セズ、見渡ス限リダヾ蕭條タル冬枯ノ姿ノマヽデアツテ山ノ人々ノ話ニ依レバ例年ニ比シテ殆ンド1ケ月モ遲レテキル變調ノ年デアルトノ事デアツタ。

然シ兎ニ角、該藻ガ依然トシテ此產地ニ自生シテ居ル事ハ確實デアリ、本年度モ今後半月モ經テバ此產地ノ溪谷ハ一面ニ該藻ノ夥シイ繁殖狀態ヲ見ラレ得ルモノト豫測セラレタ。

本年度測定シタ該自生地ノ水溫ハ 6.5°C (氣溫ト同溫), pH 7.4 デアリ、本流 (雨畑川) ノ上流區域ハ 5°C アツテみづを (*Hydrurus foetidus* KIRCHNER) ノ繁殖夥シク、ソノ長イモノハ 20 cm ニ達スルモノモアツタ。

尙、此自生地附近 (南巨摩郡西八代郡) ハ 山峽ニモ拘ラズ草鹽、鹽ノ上、鹽澤、長鹽等ノ地名ニテ豫測セラレル樣ニ多少ノ鹽分ヲ含有スル溪流ノ存在スル事ヲ考察サレルノハ興味深イ事デ。現ニ此產地ノ溪流ノ注入スル早川ノ上流ニハ有名ナ 西山溫泉 (弱食鹽泉) モアル位デアル。更ニ又、此產地ノ水質調査ヲ行ヘバ興味アル結果ヲ得ラレルモノト豫測サレタガ、生憎今回採集シタ材料ダケデハ不充分デアリ、詳細ナ確定的ナ結果ヲ得ルニハ到ラナカツタガ、此資料ニ基イテ行ツタ Cl ノ含有量ハ 50 mg/*l* Cl′ (稻葉傳三郎氏測定) ト云フ結果ヲ示シテ居リ、兎ニ角純粹ナ淡水デナイ點ハ此屬ノ他ノ種類ガ悉ク海產種デアル點ト思ヒ合セテ更ニ格別ノ興味ヲ感ズル所以デアル。(1944 年 4 月 6 日記)

○代用野菜トシテノ野草ノ資格　(前川文夫)

近時都市デノ野菜ノ配給難トソレニ基ヅク量的不足ハ戰時農園ノ開始ト食用野草ノ利用化トヲ結果シ、從來見ラレヌ風景ヲ現出スルニ到ツタガ、後者ノ徹底或ハ能率化ニハ今迄ノ單ナル食用可能トイフ程度ノ微溫的ノモノヤ、珍品ヲ食フトイフイカモノ食ヒ乃至趣味的ノモノデハ殆ンド意味ガナイ、大體次ノ諸條件ノ少クモ大部分ヲ滿タシテ始メテ代用野菜トシテノ野草ノ位置ガ明示サレルモノト思フ。卽チ

(1)　消費地ニ近イ地域ニ見出シ得テ、消費者ガソノ採集ニ距離上ノ負擔ノナイコト、
(2)　量的ニ多ク自生シ、少時間ノ探求デ必要量ヲ採リウルコト、
(3)　味ガ良イコト、少クトモ不味ナラザルコト、
(4)　調理上、時間、勞力、及ビ燃料等ヲ多ク要セザルコト、
(5)　種類ノ識別ガ容易デアツテ、マギレ易イ有毒或ハ不味、苦味ノモノガナイコト、
(6)　榮養上從來ノ野菜類ニ近イカ又ハコレヲ凌駕スルモノナルコト、
(7)　反復シテ採集ノ出來ルモノデアルコト、

等デアル。ガ實際問題トナルト中々コレ全部ヲ滿タスモノハ見當ラナイ、全クノ話ガコレダケノ條件ノ揃ツタモノハモウ野菜トシテモ利用サレ所謂野ニ遺ツテ居ナイカラデアツテ、野草トシテハコノ內ノ何割カヲ滿スモノデ我慢スルコトヽナリ、ソレナラバ割合ニコノ種ニ乏シトシナイノデアル。